



(3) 事業費

団体	円 費目を記入		
市	委託費 3,000,000 円		
合計	3,000,000 円		
初年度の事業費計	1,000,000 円	団体分担 円	市分担 1,000,000 円
前年度の事業費計	2,000,000 円	団体分担 円	市分担 2,000,000 円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。


※活動の写真や資料があれば、添付してください。

添付資料① 2025年度はんなん海の学校活動実績 参照

添付資料② 家族で海釣り広報

添付資料③ 生徒募集広報②

はんなん海の学校Instagram 参照



(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

- ・毎回、活動後に振り返りシートを記入してもらい気づいたこと、考えたことを記入している。
- ・5月10日に、大阪関西万博では、これまでのまとめとして成果報告会を開催した。「子どもたちから大人への提言」など発信した。

\*活動内容満足度 80% (5点 5段階評価) 20% (4点、5段階評価)

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

協働による効果を最大限に得られるようにするため、それぞれが持っている専門性や柔軟性を生かしていくため、提案団体と十分な協議を行い、柔軟で最適な役割分担を心掛けた。

2. 協働事業の評価

- ・下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
  - ・大変よくできた (5点) ・よくできた (4点) ・できた (3点) ・あまりできなかった (2点)
  - ・できなかった (1点) ・評価項目として適当でない (N)
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目	評価点		
		行政	団体	平均
事業	1 実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	5	5	5
	2 事業の到達目標を協議して設定しましたか。	5	5	5

実施前	3	事業の実施に際して、計画書や工程表の作成等、計画的な実施のため協議・工夫しましたか。	4	4	4
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	4	4	4
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報共有をしましたか。	4	4	4
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	5	5	5
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	5	5	5
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	5	4.5
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	5	5	5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	5	5	5
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	4	5	4.5
	12	予算は妥当でしたか。	4	4	4
	13	課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	4	4	4
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	4	4	4

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、団体や行政の単独ではなく協働で実施したことによりどのようなメリットがあったかなどを記入してください。

団体にとって	「はんなん海の学校」事業を市と協働で実施したことにより、社会教育における海洋教育においてもより発展的な事業展開が可能となった。
行政にとって	小学校卒業後に海洋教育について学ぶ機会として「はんなん海の学校」を創設したことで学校教育では得られなかったより専門的な内容を学ぶことができた。また、魚の捌き体験や海洋調査など普通の学校では体験できないことも数多く体験することができた。
市民にとって	様々なマスコミに「はんなん海の学校」のことが取り上げられ、市民に認知される機会が増えた。「環境保護」「SDGsの実践」「郷土愛」の気運の醸成につながった。

(3) 協働して課題だと感じたこと、翌年度も事業実施する場合はその改善のために具体的にどのように取り組むかを記入してください。

団体 にとって	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体的な方向性は踏襲して良いと思う。</li> <li>• 回数が少し多いため、生徒もスタッフも負担になっているのではないかな？</li> <li>• 中学生の出席率が低い。 ⇒来年度は、小学校高学年も対象にする予定</li> </ul>
行政 にとって	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年度中学校校長会と積極的に連携し活動日の工夫等行ったが、部活、受験勉強、アルバイト 等により中学校、高校生の入学生が少ないという課題が残った。来年度は、対象を小学校高学年へと拡大していく予定。</li> </ul>
市民 にとって	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 視察や講義の後は、必ず「阪南」に戻り、ふり返しを行う。その成果をできるだけ多くの市民の前で発表することで、市民が「阪南の海」に興味を持ち主体的に関わってもらいたい。</li> </ul>

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載してください。

■今後も協働事業として実施する (□提案事業継続 ■提案事業以外)

終了する

市が単独で実施する

団体が単独で実施する

その他 ( )

上記の回答とした理由を記載してください。

(『協働事業として実施』を選択された場合は、提案事業(以外)とする理由も含めて記載してください。)

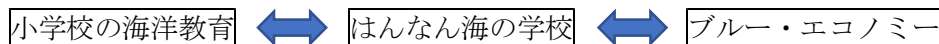
本事業は、小学校で海洋教育を学んだ中高生が輝き続ける場として、また、若年層の発想や企画・当該事業は、海洋教育を地域に根付かせ、身近でできるSDGsの取組を実践する市民を増やしていくことを目的として、令和5年度から令和7年度までの3年間、市民協働事業提案制度を活用して実施し、大阪関西万博で成果報告会を開催するなど様々な成果を残すことができました。また、数多くのマスコミに「はんなん海の学校」のことが取り上げられ、市民に認知される機会も増えたことで、「環境保護」「SDGsの実践」「郷土愛」等の気運の醸成にも貢献できたものと考えています。このような「はんなん海の学校」の取組は、今ではモデルケースとして全国でも注目されるようになってきています。今後、SDGs基金を活用し、地域に根ざした持続可能な海洋教育を阪南モデルとして発展させていきたい。

(5) 実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体の自主財源確保の方法などを含めた具体的な事業展開の内容などを記入してください。

・本事業は、本事業は、小学校で海洋教育を学んだ中高生が輝き続ける場として、また、若年層の発想や企画・運営力を活かす場としての一面があります。3年間の事業が終了した後も、そこで育った人材がまた核となって活躍するという持続可能な取組となるような体制づくりをめざします。そのため、今年度より、これまでの参加する側から自分たちが企画運営する側の視点に立った研修や生徒自主企画イベントの運営等の活動も取り入れ、生徒のステップアップを図ってきました。

地域に根ざした持続可能な海洋教育へ 【阪南モデル】を全国へ

\*スムーズな接続がキーポイント



(6) その他

## 2025年度はんなん海の学校活動実績(計画)

2025. 12. 7 修正版

2025年	時間	イベント・活動内容	概要	場所等	備考
5月10日(土)	9:30 ~ 13:00	報告会 シンポジウム	1年間の活動報告とシンポジウム	万博会場 ヘルスケアバビリオン	詳細は別紙
7月13日(日)	10:00 ~ 17:00	生き物調査(※6)	アマモ場の生き物調査。準備から生物同定作業、片付も実施。 パナソニックの海の再生活動と一緒に実施(パナソニックの環境についての考えや取り組みの紹介もしてもらう)。	西鳥取漁港	協力:チーム☆ガサ、日本 ミクニヤ
8月3日(日)	13:00 ~ 17:00	学習会1	イベント計画の立て方学習 生徒企画イベントの検討・決定	尾崎公民館	
8月31日(日)	10:00 ~ 16:00	海の安全教室(※1)	安全に海で遊ぶための講義と実技。	西鳥取漁港	協力:CNAC
9月14日(日)	10:00 ~ 17:00	NPOイベントサポート研修(※2) 生徒企画イベント1(※3)	NPOで実施する稲刈りのサポート 生徒が自主的に企画・運営する活動	西鳥取漁港	
10月26日(日)	9:00 ~ 17:00	生徒企画イベント2(※3)	生徒が自主的に企画・運営する活動	西鳥取漁港	
11月2日(日)	9:00 ~ 17:00	全国海の再生高校生サミット(※4)	x	横須賀総合高校	1日現地入り・2日参加後に 帰阪
11月9日(日)	9:00 ~ 17:00	学習会2	他地域で活動している団体の話を聞く(想いを伝えるとは)	尾崎公民館	協力:福岡FUN
12月7日(日)	9:00 ~ 16:00	NPOイベントサポート研修(※2) カキ養殖作業体験(※5)	NPOで実施する海苔漉き枠づくりのサポート カキの講義、カキ引き上げ・カキ割体験、カキ筏見学	波有手のカキ小屋	
1月18日(日)	13:00 ~ 16:00	学習会3	3月15日に発表する料理について意見交換、決定、準備	尾崎公民館	
3月8日(日)	9:00 ~ 16:00	NPOイベントサポート研修(※2) 地産地消学習	NPOで実施する海苔漉き体験のサポート 海苔やカキなど地域の食材を使った料理の開発(試作)	波有手のカキ小屋	
3月15日(日)	9:00 ~ 16:00	学習会4	NPOイベント参加者への開発料理のお披露目 NPOイベント参加者への活動紹介、一年間の振り返り	波有手のカキ小屋	

※1:CNACより講師を招いて実施。午前中に講義、午後に体験、その後まとめを行う。

※2:NPOが行う「海と陸とのつながりを味わおう」イベントのサポート

※3:生徒企画イベント(魚釣り・漁業体験・料理……)。生徒たちが企画し運営する。

※4:11月1日～2日に横須賀で開催される「全国海の再生高校生サミット」は、タイムスケジュール的に発表が難しいので自由参加とする。生徒の旅費の一部は補助できるように調整中。

※5:カキ養殖作業の体験を行う。出来れば乗船作業も行う。場合によってはワカメ種糸付け作業。

※6:10:00から準備を行い、11:00～12:30で昼食を取りながら自主企画でどの様なことを行いたいのかなどの意見交換を行う(昼食は事務局で用意する)。

# 家族で海釣りの楽しさを体験しよう

～はんなん海の学校 主催!!～



牡蠣の養殖いかだの近くまで舟で行き、釣りを楽しみませんか。はんなん海の学校の生徒の自主企画・運営です。ぜひ、一緒に楽しみましょう。

- 日時・・・10月19日（日） 午後1時 ～ 午後4時
- 集合・・・西鳥取漁港 牡蠣小屋
- 定員・・・先着10人程度 小学3年生以上（保護者同伴）
- 費用・・・一人300円（保険代・餌代）
- 持ち物・・・追って連絡いたします。  
（餌、釣竿、バケツ、ライフジャケットはこちらで準備します。）
- 申込期間・・・10月4日（土）～ 10月15日（水）
- 申込み方法・・・公民館窓口、または電話で  
中央公民館 ☎072-489-4544



はんなん海の学校

「はんなん海の学校」のインスタはこちら



はんなん海の学校は、昨年度の成果を万博で発表し、大変好評を得ました。これからも大阪湾のこと、環境のことを知るために、元気に活動していきます。一緒に阪南の海を楽しみませんか。

★「はんなん海の学校」の生徒も募集しています。（中央公民館まで）

# 「はんなん海の学校」の生徒募集

★「はんなん海の学校」の  
Instagramはこちら→



「はんなん海の学校」は、小学校で培った海洋教育の学びをよりステップアップさせていく場として創設された学校です。昨年度の成果を万博で発表したり、生徒の自主企画イベントを開催したりするなど、大変好評を得ました。これからも大阪湾のこと、環境のことを知るために、元気に活動していきます。  
**一緒に阪南の海を楽しみませんか。**

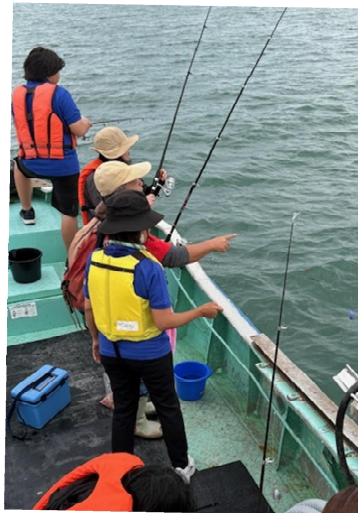
2025年度はんなん海の学校活動計画(案)

2025. 12. 7 修正版

2025年	時間	イベント・活動内容	概要	場所等	備考
①	5月10日(土) 9:30 ~ 13:00	報告会 シンポジウム	1年間の活動報告とシンポジウム	万博会場 ヘルスケアパビリオン	詳細は別紙
②	7月13日(日) 10:00 ~ 17:00	生き物調査(※6)	アマモ場の生き物調査。準備から生物同定作業、片付も実施。パナソニックの海の再生活動と一緒に実施(パナソニックの環境についての考えや取り組みの紹介もしてもらう)。	西鳥取漁港	協力: チーム☆ガサ、日本ミクニヤ
③	8月3日(日) 13:00 ~ 17:00	学習会1	イベント計画の立て方学習 生徒企画イベントの検討・決定	尾崎公民館	
④	8月31日(日) 10:00 ~ 16:00	海の安全教室(※1)	安全に海で遊ぶための講義と実技。	西鳥取漁港	協力: CNAC
⑤	9月14日(日) 10:00 ~ 17:00	NPOイベントサポート研修(※2) 生徒企画イベント1(※3)	NPOで実施する稲刈りのサポート 生徒が自主的に企画・運営する活動	西鳥取漁港	
⑥	10月26日(日) 9:00 ~ 17:00	生徒企画イベント2(※3)	生徒が自主的に企画・運営する活動	西鳥取漁港	
⑦	11月2日(日) 9:00 ~ 17:00	全国海の再生高校生サミット(※4)	x	横須賀総合高校	1日現地入り・2日参加後に帰阪
⑧	11月9日(日) 9:00 ~ 17:00	学習会2	他地域で活動している団体の話を聞く(想いを伝えるとは)	尾崎公民館	協力: 福岡FUN
⑨	12月7日(日) 9:00 ~ 16:00	NPOイベントサポート研修(※2) カキ養殖作業体験(※5)	NPOで実施する海苔漉き枠づくりのサポート カキの講義、カキ引き上げ・カキ割体験、カキ筏見学	波有手のカキ小屋	
⑩	1月18日(日) 13:00 ~ 16:00	学習会3	3月15日に発表する料理について意見交換、決定、準備	尾崎公民館	
⑪	3月8日(日) 9:00 ~ 16:00	NPOイベントサポート研修(※2) 地産地消学習	NPOで実施する海苔漉き体験のサポート 海苔やカキなど地域の食材を使った料理の開発(試作)	波有手のカキ小屋	
⑫	3月15日(日) 9:00 ~ 16:00	学習会4	NPOイベント参加者への開発料理のお披露目 NPOイベント参加者への活動紹介、一年間の振り返り	波有手のカキ小屋	



万博での成果報告会



生徒の自主企画  
～家族で海釣り～

## 募集要項

**対象** 令和8年度 小学5年生以上の若年層  
\* 3学期の活動から体験入学も可能です。

**定員** 20人程度 (随時受け付けます)

**申込方法** 中央公民館窓口、電話または  
メールで (QRコードから)

中央公民館 ☎072-489-4544

**費用** 無料

